

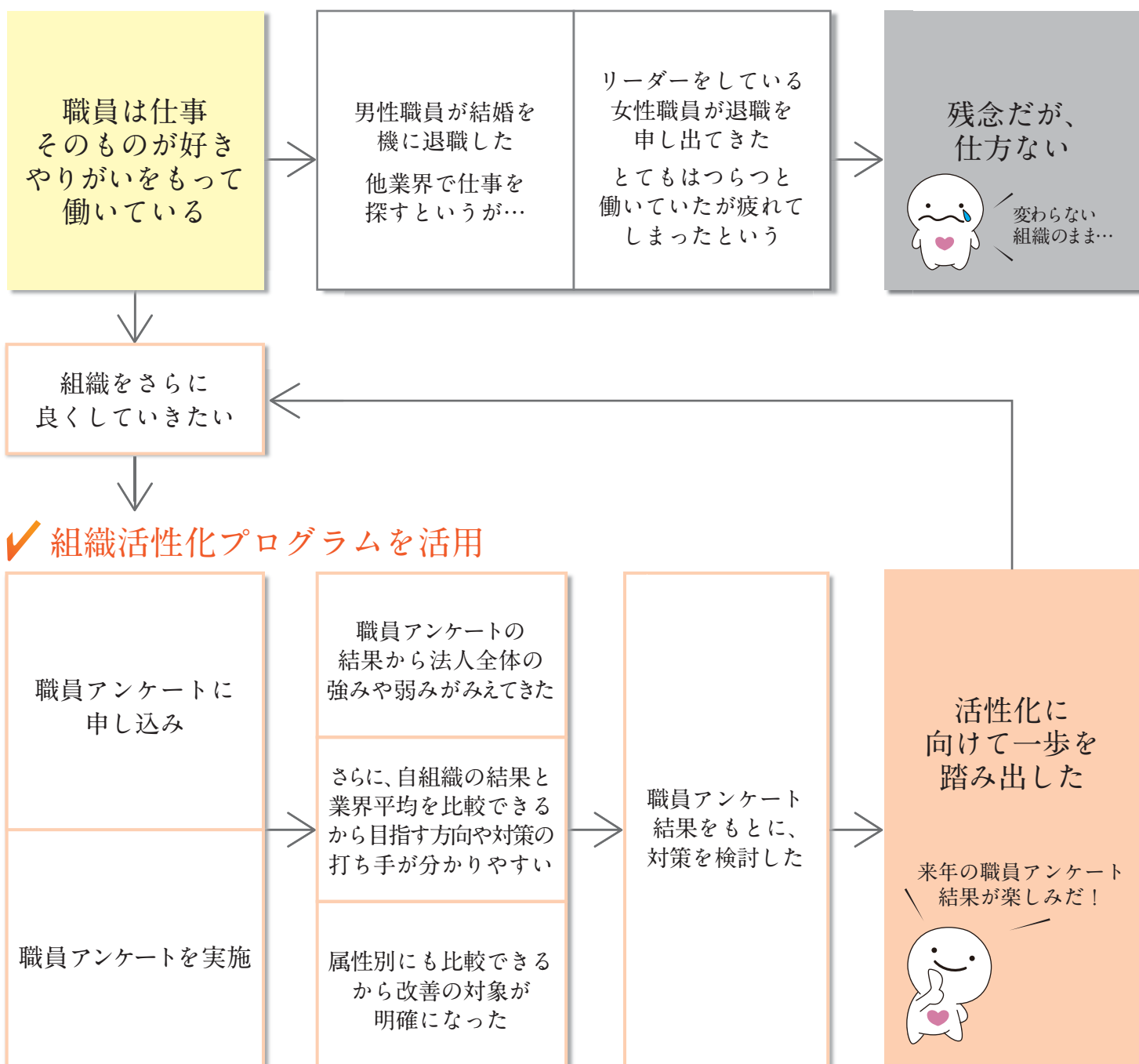
京都府福祉職場
組織活性化
プログラム

いま働いている職員の思いを
これからの職場づくりに活かす

いま働いている職員の思いを これからの職場づくりに活かす

「京都府福祉職場 組織活性化プログラム」とは、職員アンケートを用いて職員の職場や仕事に対する思いを見える化し、それぞれの事業者でその結果を組織活性化につなげていただくものです。

職員アンケートはウェブシステム上において無記名での実施であり、「きょうと福祉人材育成認証制度」に参加いただいている皆様には実施・データ収集・分析まで、全て無料でご利用いただけます。



職員アンケートの内容

「仕事や職場環境に関する設問（7分類 30設問）」と「仕事に対する満足感」を5段階で回答いただきます。

7分類・30設問	職場内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・職場では、職員が日頃から助け合っている ・職場で何か問題があれば、上司や同僚と気軽に相談できる
	上司の機能	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の中で、上司は仕事で不公平が起こらないよう配慮している ・職場の中で、上司は仕事や能力開発でよく面倒をみってくれる
	キャリアパスと人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の中で、新人や後輩を育成する仕組みは十分に機能している ・法人（会社）は、計画的に研修参加の機会を提供している
	ワークライフバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・職場は、有給休暇が取りやすい ・今の労働時間の長さには不満はない
	職員の処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・法人（会社）の給与決定の方法に納得している ・法人（会社）の福利厚生は職員に配慮されている
	会社の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・法人（会社）は、改善に向けた手法や技術を積極的に取り入れている ・法人（会社）は利用者の満足度を高めようと努めている
	自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・今の仕事は、自分の能力や立場に見合っている ・今の仕事をしていることにやりがいを感じている

※設問は一部抜粋



総合満足	私は、今の法人（会社）で働いていることに満足をしている
------	-----------------------------

回答方法：【5】その通りだと思う【4】ややその通りだと思う【3】どちらともいえない【2】あまりそう思わない【1】そうとは思わない
 ※上記のほかに、勤続3年未満の職員を対象に、採用前後の環境について確認する質問が2つあります。

職員アンケート結果からわかること

1. 法人全体の傾向【法人全体×京都府業界平均】

2. 属性ごとの特性【法人内の属性別比較】

3. 経年の変化【過去データとの比較】

職員アンケート結果について

		1. 法人全体の傾向 【法人全体×京都府業界平均】	2. 属性ごとの特性 【法人内の属性別比較】	3. 経年の変化 【過去データとの比較】
わかること		法人の弱み・強みを知ることができる	属性ごとの特性や、取り組むべき課題を把握することができる	実施してきた取組の評価ができる
できること		法人全体の職員アンケート結果を京都府業界平均と比較	所属・職種・階層・年齢・勤続年数・雇用形態ごとそれぞれの比較	過去2回分のデータとの比較
データの表示方法	合計点の平均	表 グラフ	表 グラフ	表 グラフ
	総合満足の平均	表 グラフ	表 グラフ	表 グラフ
	中分類の平均	表 グラフ	表	表 グラフ
	個別設問項目の平均	表 グラフ	表 グラフ	表 グラフ
	合計点の分布		グラフ	-

職員アンケート結果データの表示方法

✓ 合計点の平均

仕事や職場環境に関する設問（30 設問）の回答の合計点平均を京都府業界平均と比較しています。

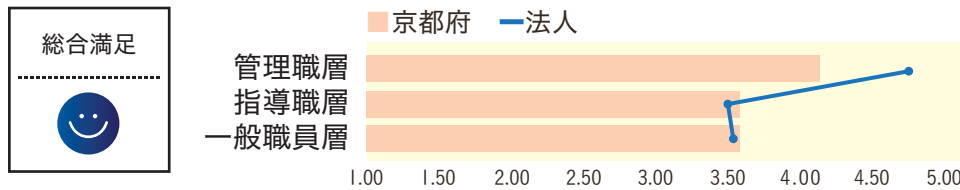
	法人	京都府
全体	102	106
入所施設	100	103
通所事業所	103	106
訪問事業所	103	113

京都府業界平均を下回っている

入所施設が最も低く、訪問事業所は業界平均を10ポイント下回っている

✓ 総合満足度の平均

「総合満足」の回答の平均を比較しています。

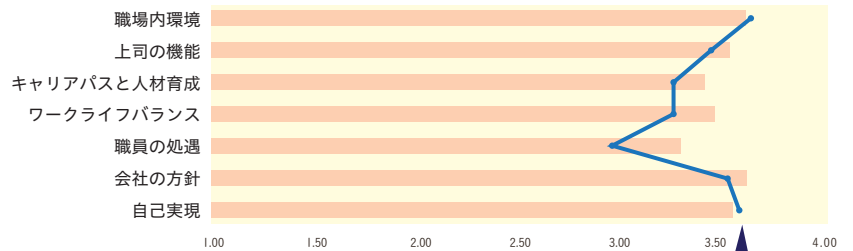


指導職層が最も低く、業界平均を下回っている

✓ 中分類の平均

仕事や職場環境に関する設問（30 設問）を7つに分類して、分類ごとに平均を比較しています。中分類で比較をするので、自組織の強い部分・弱い部分が一目瞭然です。

7つの分類	職場内環境	上司の機能	キャリアパスと人材育成
ワークライフバランス	職員の処遇	会社の方針	自己実現



・「職場内環境」や「自己実現」は業界平均を上回っている
 ・「職員の処遇」が最も低く、次いで「ワークライフバランス」が低いぞ

✓ 個別設問項目の平均

個別の設問項目ごとに職員アンケートの結果を確認することができます。

個別設問項目	法人	直接サービス職員	相談援助職	保健・医療職	栄養・調理職	事務・運営管理職
ワークライフバランス	職場は、有給休暇が取りやすい	2.34	1.44	2.98	2.20	3.29
	今の労働時間の長さには不満はない	3.60	3.52	2.67	3.56	3.71
	職場は、仕事と育児や介護の両立を支援している	3.71	3.74	3.15	3.82	4.29
職員の処遇	法人（会社）は、職員の健康維持、増進に配慮している	3.62	3.37	3.67	3.62	4.29
	法人（会社）の給与決定の方法に納得している	2.60	2.48	3.10	2.53	3.14
	法人（会社）の福利厚生は職員に配慮されている	3.20	2.96	3.02	3.10	4.14
	法人（会社）は適正な役職登用や職員配属につとめている	3.22	3.04	3.33	3.32	3.86
	法人（会社）の規則や決定事項について職員に情報提供されている	2.98	2.74	2.54	2.98	3.86

直接サービス職員の有給休暇、給与決定、福利厚生に関するポイントが他と比べてとても低いことが分かった

上記職員アンケート結果から、組織の課題を見つけよう！

例えば…合計点は入所施設が最も低く、総合満足度の平均は指導職層や一般職員層のポイントが低いので、入所施設の指導職層、一般職員層を対象とした取組を検討する必要があります。

中分類から、「職場内環境」や「自己実現」のポイントが業界平均を上回っているということは、職場の人間関係はよく、やりがいを感じていることは分かる。一方で、「ワークライフバランス」と「職員の処遇」が低い。

その中でも有給休暇の設問については、直接サービス職員が特に低い！有給休暇の取得については、早急に対策を検討しよう。それから…


※上記職員アンケート結果は架空のものです。

組織活性化プログラム 職員アンケートの申し込み

職員アンケート
所要時間 10分程度

無料・簡単登録

STEP 1

kyoto294.net から  に
アクセス

STEP 2

「組織活性化プログラムの手引き」を
ダウンロードして申し込み

STEP 3

職員説明会を実施して職員アンケート
画面を案内 (QR コードも使えます)

STEP 4

職員アンケート実施

STEP 5

ポスターを作成し、回答を促進

STEP 6

回答が完了したら「分析開始」ボタン
をクリック

STEP 7

職員アンケートの結果を確認

✓ 支援ツールが揃っています

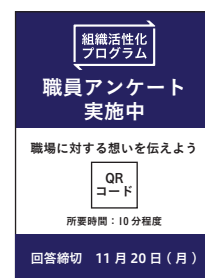
STEP 2 「組織活性化プログラムの手引き」とは、
組織活性化プログラム実施にあたっての手引書です。

- ・プログラムスケジュールの立て方
- ・職員アンケートの実施
- ・職員アンケートシステムの管理画面の機能
について説明しています。

STEP 3 「職員説明用資料」

STEP 5 「職員アンケートポスター」

※kyoto294.net からダウンロードできます



STEP 7 「組織活性化のすすめ」とは、

職員アンケート結果の読み解き方や活用方法につ
いて説明しています。
組織活性化を進めるうえのヒントを掲載しています。

活用事業所の声

✓ 組織活性化にむけた取り組みのきっかけになります

職員の今感じている事がストレートに分
かり、良い資料となりました。課題につ
いて、すぐに対応が出来るところは早急
に対応し、職員の意欲を保つように職員
アンケートを役立てていきたいです。
(高齢者事業者)

職員も負担感はなくスムーズに取り組め
たと感じています。結果を踏まえて、法人
全体で職場環境改善に取り組んでいき
たいと思います。
(障害者事業者)

✓ 職員の思いが可視化されわかりやすい

職員アンケートの主旨について大変共感でき
ます。京都府全体での取り組みなので業界
平均値・業界課題もわかり有効。年齢、
勤続、階層別の分析結果を見られること
もありがたかったです。
(高齢者事業者)

職員がスマートフォンで回答できるのが便利
です。職員アンケートはパソコンやスマ
ートフォンで答えやすい上に、職員の意識が
分析され、数値やグラフで可視化される
ので、職場環境改善に役立ちます。
(児童・保育事業者)

✓ 京都府福祉職場 組織活性化プログラムについて

Q1 このプログラムを活用できる対象は？費用はかかるのか？

A 京都府内の介護・福祉サービスを提供する事業者で「きょうと福祉人材育成認証制度」に参加されている方となります。実施・データ収集・分析まで全て無料でご利用いただけます。

✓ 職員アンケートデータの取扱について

Q2 個人の回答データはどのように扱われるのか？

A 個々の回答データは、ウェブシステムから直接京都府が管理するシステムに集積され処理されます。個人の回答が漏れたり、流出するようなことはありません。

Q3 個人ごとに整理番号をつけるが、番号によって個人の回答を特定できるか？

A いいえ。本調査での整理番号は、その職員が回答済かどうかを確認するためだけに用いるものです。法人にフィードバックされるデータは、全体または属性ごとの 10 名以上のグループの平均値なので個人の特定は不可能です。

✓ 職員アンケート実施について

Q4 職員アンケートの対象は正規職員のみか？

A いいえ。正規・非正規、常勤・パート問わず、全ての職員となります。法人で働く全ての人の意識を知ることが重要であるため、100%の回答率が望ましいです。

Q5 職員アンケートの回答方法は？

A 職員アンケートは全てウェブからの回答となります。パソコンの他、スマートフォンからも回答することができます。
職員アンケート申込み後、法人ごとに回答用画面の URL を設定しますので、職員の皆さんへメールで URL をご案内いただくか、職場のポスター等で QR コードを掲示ください。

Q6 職員アンケート実施の際の留意点は？

A 職員アンケートの実施期間は 2 週間程度が適当です。より多くの職員に回答いただくためには、就業時間内に回答いただくことをお勧めいたします。

✓ 職員アンケートの分析結果について

Q7 職員アンケート結果をどのように活用したら良いのかイメージがつかないが…。

A 府が実施するセミナーにお越しいただくか、「組織活性化のすすめ」をご覧いただくことをおすすめします。なお、「組織活性化のすすめ」など組織活性化プログラムに関連する資料は、kyoto294.net からダウンロードできますので、ご覧ください。

お問い合わせ先

京都府福祉人材サポートセンター コンサルティング事業部門

((株) エイデル研究所 京都支社/京都府事業受託会社)

〒604-0862 京都市中京区少将井町 245 - 2 烏丸梅田ビル 8 階

tel.075-253-0201 fax.075-253-0204

email.kyoto-fukushi@eidell.co.jp